

床ずれ防止用具

床ずれとは

非常に治りにくい皮膚の潰瘍^{かいよう}で、発熱の原因になったりすることもあります。

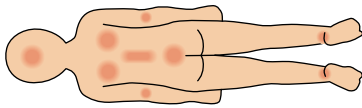
1 床ずれはどうしてできるのか？

- ①いつも下になっている部分の皮膚が圧迫されるので血行が悪くなる
- ②皮膚が不潔になったり、湿ったり、摩擦が起きたりする
- ③全身の栄養状態が悪くなる

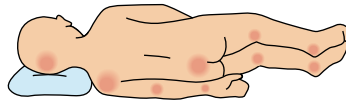
何より大切なことは、
床ずれを
つくらないことです！

2 床ずれのしやすい場所

●仰向けに寝ている場合



●横向けに寝ている場合



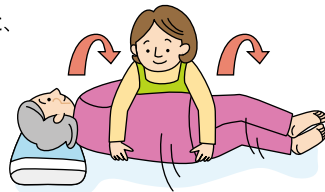
●体圧のかかりやすい、骨の突き出た所に注意してください。(例)仙骨部、足、足関節部、大転子部、等

床ずれ防止の三原則

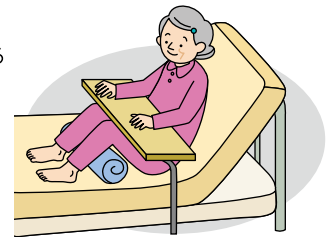
原因となる要素を取り除く必要があります。

1 体位交換をして、同じ部位の圧迫をさける

●仰向け、右向き、左向き、……と、
2時間毎に体位を変える



●できるだけ座る姿勢をとる



2 清潔を保ち、刺激をさける

- ①入浴や清拭で皮膚を清潔にし、こまめにおむつ交換をして、むれを少なくする
- ②寝まき、シーツはノリづけせず、よく乾いたものをシワのないように
- ③寝まき、シーツ、ふとんはよく日光に干す
- ④寝床にゴミや食べかすなどがあれば取り除く



※すべての人が防止できるわけではありませんが、適切な対応をとりましょう。

3 全身の栄養状態を良くする

食べやすく工夫した、
バランスの良い食事内容にする。
特に、たん白質やビタミンCを
十分に摂るようにしましょう。

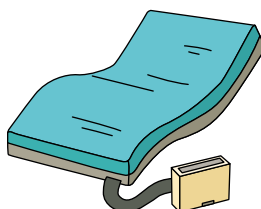


床ずれ防止用具の種類

ご利用者さまの身体状況に応じて、適切な床ずれ防止用具を選びましょう。

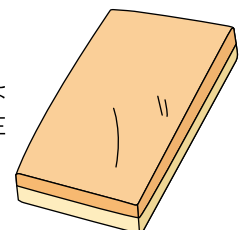
エアーマットタイプ

ポンプから出るエア（空気）によって、
複数のエアセルを膨張・収納させて、体
を支える面を変化させます。



静止型マットレスタイプ

ウレタンフォーム、ジェル等の素材によ
り、広い面で体を支えることにより、体圧
を分散させます。





マットレスの種類と選び方

床ずれ発生リスク度の判定方法 (OHスケール)

床ずれ防止用具

評価法	自立体位変換	完全に「できる」、完全に「できない」以外は「どちらでもない」	できる 0点 どちらでもない 1.5点 できない 3点
	病的骨突出(仙骨部)	中央から8cm離れたところの高低差によって評価	なし 0点 軽度・中重度 1.5点 高度 3点
	浮腫(むくみ)	指で5秒間押し、指を離してもへこみが消えなければ浮腫あり	なし 0点 あり 3点
	関節拘縮	関節拘縮のあるなしで評価	なし 0点 あり 1点

床ずれ発生リスク度の判定結果 (合計点数)

	リスク無し(0点)	軽度(1~3点)	中等度(4~6点)	高度(7~10点)
静止型 マットレス		キュオラ p37		
		アルファプラF p36		
		ディンプルマットレス p37		
		アクアフロート p36		
		ストレッチグライド p36		
		ナッソー p37		
				フィール p34
エア マットレス				ネクサスR p34
				こちあ結起3D p33
				ステージア p32
				インフィニティ p35
				グランデ p33
				オスカー p32
			クレイド p33	